

政策番号	23	政策分野	建築物
------	----	------	-----

基本方針	建築物にかかわる災害や事故から市民を守り、だれもが日々安心して、いきいきとくらすことができ、充実した社会活動を展開できるひとにやさしいまちの実現をめざし、市民と行政の役割分担と協働の下で、新築建築物及び既存建築物の両方について、安全で、環境に配慮され、だれもが使いやすい建築物にしていく。また、建築物の先導的な役割を果たすべき公共建築物においても、適切で計画的な維持管理や有効活用を図る。
------	--

担当局	都市計画局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策の評価

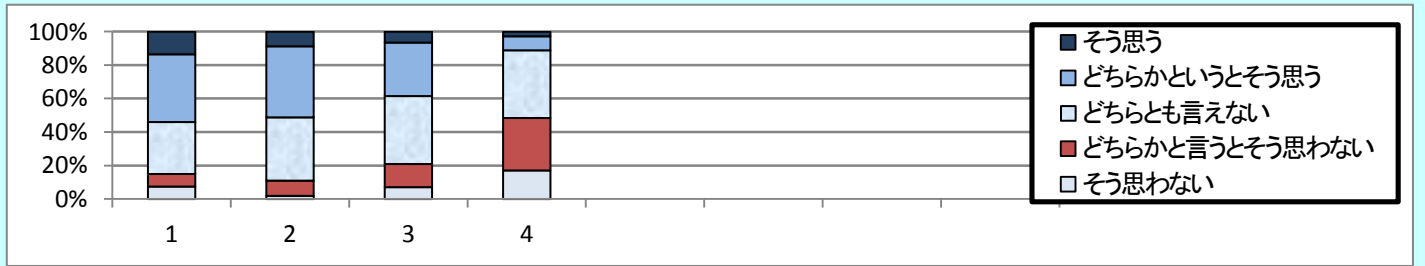
1 客観指標評価

指標名		23年度 評価値	32年度 目標値	23 年度	24 年度	25年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	検査済証の交付率(%)	90.3	100	b	b	93.6	96.4	100	96.4%	a
2	定期的に安全点検された既存建築物件数(件)	317	10,000	a	a	508	1,003	800	125.4%	a
3	CASBEE京都(※1)高評価件数(件)	10	300	-	b	10	28	32	87.5%	a
4	バリアフリー優良建築物の件数(件)	416	500	a	e	357	434	500	86.8%	a
5	特定建築物(※2)の耐震化率(%)	84.7	90	a	a	78.8	84.7	82	103.3%	a
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価				a	b					a

※1 京都らしい環境配慮建築物を適切に評価・誘導するための京都独自のシステムとして新たに定めた基準 ※2 多数の者が利用する建築物等(市有建築物を含む)

2-1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		23年度	24年度	25年度
1	建物を新築するときは、建築ルールが守られている。	b	b	b
2	バリアフリー化された建物が増えている。	b	b	b
3	地震や火災に強い建物が増えている。	c	c	c
4	身近な地域にある細い道は、地震や火災などの災害時に被害が大きくならないよう改善されている。	d	d	d
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
市民生活実感調査総合評価		c	c	c



2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

23年度		24年度		25年度	
順位	%	順位	%	順位	%
26	5.4%	26	6.0%	12	85.0%

3 総合評価

B	政策の目的がかなり達成されている	24年度	B
		23年度	B

【客観指標】・新築建築物等の安全性を担保する検査済証の交付率は、法定の義務であるため100%を目標としている。多様な機関の連携による完了検査の実施の周知徹底等に努めた結果、前年度から交付率が向上し、a評価となった。

- ・定期点検された既存建築物件数は、建築基準法に定められた定期報告制度の着実な実施等により、件数が大幅に増加し、昨年度に引き続きa評価となった。
- ・京都らしい環境配慮型建築物を適切に評価・誘導するための本市独自の基準「CASBEE京都」については、平成23年度から新たに運用を始めた。景気の動向から、住宅用途での着工件数が緩やかに増加していることに伴い、高評価の件数も大幅に増加し、a評価となった。
- ・バリアフリー優良建築物の協議件数は増加傾向にあったことから、検査受検件数も増加し、a評価となった。
- ・特定建築物の耐震化率は、現況値の把握が複数年おきであることから、今年度については、昨年度の評価結果のままとしている。

【市民の実感】・市民の実感については、全体として昨年度と同様の評価となった。

- ・防災上の細街路の改善については、都市構造上、狭小敷地や細街路が多く道路の拡幅が進んでいないことなどから、やや否定的に評価されている。その他、地震や災害に強い建物の増加については、実感が広がっていないものの、新築時のルール順守やバリアフリー化については、かなり肯定的に評価されている。

【総括】・客観指標が市民の実感を上回る結果となった。

- ・災害対策に関する市民実感の向上に向けて取り組む余地はあるものの、新築建築物の安全性の確保や環境配慮型建物への誘導などは一定進捗している。
- ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、かなり達成されていると評価する。

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価>

施策番号	施策名	評価結果			参照ページ
		23	24	25	
2301	安全な新築建築物の供給	B	B	A	237
2302	既存建築物の安全性の向上	B	B	B	239
2303	細街路対策による災害に強いまちづくり	C	B	B	241
2304	環境に配慮され、だれもが使いやすい建築物の誘導	A	C	A	243
2305	公共建築物の先導的整備	B	B	B	245

<今後の方向性>

・全ての新築建築物の検査済証の取得に向け、多様な関係機関と連携しながら、建築主や事業者向けの普及啓発強化、工事管理の徹底、各種申請・手続きにおける検査済証の要件化等など、検査済証の交付率の向上に取り組む。

・建築物の耐震化が急務となる中、建築物の安全かつ快適な活用や、地震や火災、事故による被害の減少に向け、民間建築物の耐震化の促進や環境等に配慮された建築物への誘導などにより、新築・既存に関わらずだれもが使いやすい建築物にしていく。また、公共建築物においては、民間建築物のモデルとなる先導的な整備を進める。

・災害に強いまちづくりの進展に向け、袋路・細街路や木造密集市街地といった歴史都市としての都市特性に応じ、京都らしさを維持しながらも、都市防災上、住宅・住環境上の安全性を確保するため、関係団体等への説明や周知・啓発を実施するなど、細街路の防災性を高める取組を進める。

政策名	23	建築物				
指標名	検査済証の交付率（％）					
担当部室	建築指導部	連絡先	2 2 2－3 6 1 3			
1 指標の説明						
確認済証を交付した件数に対する検査済証を交付した件数の割合						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
安全が確保された新築建築物が増えてきていることを示す指標		算出方法：確認済証を交付した年度から3箇年度を経過した時点において、着工の有無及び検査済証の交付の有無を調査することにより、検査済証の交付率を算出する。出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 90.3	平成32年度目標値 100	根拠 建築基準法第7条に基づき、完了検査は受検しなければならないものであるため、目標値は100%とする。			
	前回数値 20年度	最新数値 21年度	推移	単年度目標値 数値	根拠	達成度
数値	93.6	96.4	2.8ポイント増	100	建築基準法第7条に基づき、完了検査は受検しなければならないものであるため、目標値は100%とする。	96.4%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		100%	26年度	96.4%		京都市建築物安心安全実施計画
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値が a:95%以上 b:90%以上95%未満 c:85%以上90%未満 d:80%以上85%未満 e:80%未満		当該指標について、京都市建築物安心安全実施計画において、平成26年度末で100%を目指すことを踏まえ、95%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。		232425 bba		

指標名	定期的に安全点検された既存建築物件数（件）					
担当部室	建築指導部	連絡先	2 2 2－3 6 1 3			
1 指標の説明						
建築基準法第12条の定期報告制度による報告の件数及び既存建築物の査察その他調査の件数の合計						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
行政による査察等によって、安全性と適法性の状況が確認された既存建築物を示す指標		算出方法：建築基準法の定期報告制度による報告があった建築物の総数及び既存建築物の査察その他調査の件数の合計。出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 317	平成32年度目標値 10,000	根拠 備考欄に記載			
	前回数値 23年度	最新数値 24年度	推移	単年度目標値 数値	根拠	達成度
数値	508	1,003	495件増	800	32年度の目標値達成のために、当該年度に達成すべき数値	125.4%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a:80%以上 b:60%以上80%未満 c:40%以上60%未満 d:20%以上40%未満 e:20%未満		定期報告の提出率の全国平均（22年度：68.4%）を踏まえ、拡大予定数の80%以上を施策の目標達成として、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		232425 aaa		

政策名	23	建築物				
指標名	CASBEE京都（※）高評価件数（件）					
担当部室	建築指導部	連絡先	2 2 2 - 3 6 1 6			
1 指標の説明						
※京都らしい環境配慮建築物を適切に評価・誘導するための京都独自のシステムとして新たに定めた基準（CASBEE京都）により評価されたものの中で、高評価（S・Aランク）のものの件数						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
環境に配慮された質の高い建築物の増加状況を示す指標		出典：京都市地球温暖化対策条例（事業担当課調べ）				
4 数値						
10年後の（平成32年度）目標値	平成24年度評価値 10	平成32年度目標値 300	根拠 現状のCASBEE全国版での評価に基づき、高評価に誘導する対象物を精査して設定。			
	前回数値 23年度 10	最新数値 24年度 28	推移 18件増	単年度目標値 数値 32	根拠 単年度目標値については、平成32年度目標値を達成するための増加率を勘案して年度ごとに割り戻したものである。	達成度 87.5%
	全国順位	数値	目標年次	達成度	中長期目標 根拠	備考
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		当該指標については、景気動向等による建築物の着工件数の影響が大きいことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		23 24 25 - b a		

指標名	バリアフリー優良建築物の件数（件）					
担当部室	建築指導部	連絡先	2 2 2 - 3 6 1 6			
1 指標の説明						
バリアフリー化された建築物（施設）の件数						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
「ひとにやさしいまち」に向けた進み具合を示す指標		算出方法：京都市建築物等のバリアフリーの促進に関する条例に基づく検査済証交付件数 出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値 416	平成32年度目標値 500	根拠 過去の建築確認申請の動向等から、条例対象となる建築物を拡大した後の件数を推計			
	前回数値 23年度 357	最新数値 24年度 434	推移 77件増	単年度目標値 数値 500	根拠 過去の建築確認申請の動向等から、条例対象となる建築物を拡大した後の件数を推計	達成度 86.8%
	全国順位	数値	目標年次	達成度	中長期目標 根拠	備考
数値						22年度 416件 23年度 357件 24年度 434件 平均 402件
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値と前回数値との比較 a：10件以上の増加 b：4件～9件の増加 c：3件の減少～3件の増加 d：4件～9件の減少 e：10件以上の減少		これまでのバリアフリー条例に基づく検査済証交付件数の推移をもとに、評価基準を設定。		23 24 25 a e a		

政策名	23	建築物					
指標名	特定建築物の耐震化率（％）						
担当部室	建築指導部	連絡先	2 2 2－3 6 1 3				
1 指標の説明							
多数の者が利用する建築物等（市有建築物含む）のうち耐震性能を有するものの割合							
2 指標の意味		3 算出方法・出典等					
地震に対する安全が確保された建築物が増えて いることを示す指標		算出方法：特定建築物のうち耐震性能を有するものの数÷特定建築物 の全数×100 出典：事業担当課調べ（住宅・土地統計調査を参照）					
4 数値							
10年後の（平成32年度） 目標値	平成24年度評価値 84.7	平成32年度目標値 90	根拠 耐震改修促進法に基づく国の基本方針及び京都市建築物耐震改修促進計画の目 標達成（耐震化率90％）のために、今年度達成すべき目標値				
	前回数値 18年度	最新数値 22年度	推移	単年度目標値			
				数値	根拠	達成度	
数値	78.8	84.7	5.9ポイント増	82	中長期目標の達成（耐震化率90％）のた めに、今年度達成すべき目標値	103.3%	
	全国順位	中長期目標			備考	耐震化率の算出に必要な住宅・ 土地統計調査（平成25年実施） の結果が平成26年度末頃に公表 されるため、最新値は平成22年 のものとする。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		90%	27年度	94.1%			耐震改修促進法に基づく国の基本方針 京都市建築物耐震改修促進計画
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a:100％以上 b:90％以上100％未満 c:80％以上90％未満 d:70％以上80％未満 e:70％未満		目標値以上であれば政策目的の達成と して、100％以上をa, 以下10％刻みで基 準を設定した。			23 24 25 a a a		